

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年11月15日

【四半期会計期間】 第61期第1四半期（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

【会社名】 東京コスモス電機株式会社

【英訳名】 Tokyo Cosmos Electric Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岩崎美樹

【本店の所在の場所】 神奈川県座間市相武台二丁目12番1号

【電話番号】 046-253-2111（代）

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 企画部長 小野沢 一実

【最寄りの連絡場所】 神奈川県座間市相武台二丁目12番1号

【電話番号】 046-253-2111（代）

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 企画部長 小野沢 一実

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成29年8月10日に提出いたしました第61期第1四半期（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績に関する説明

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

(前略)

利益面につきましては、工場移転コスト負担や減価償却費の大幅な増加を増収効果で吸収し、営業利益は125百万円（前年同四半期比444.6%増）、経常利益は為替差損が大幅に減少したものの、工場本格稼働前の開業費償却を計上したため74百万円（前年同四半期は23百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は事業構造改善費用12百万円の計上により41百万円（前年同四半期は18百万円の損失）となりました。

(後略)

(訂正後)

(前略)

利益面につきましては、工場移転コスト負担や減価償却費の大幅な増加を増収効果で吸収し、営業利益は125百万円（前年同四半期比444.6%増）、経常利益は為替差損が大幅に減少したものの、工場本格稼働前の操業準備費用を計上したため74百万円（前年同四半期は23百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は事業構造改善費用12百万円の計上により41百万円（前年同四半期は18百万円の損失）となりました。

(後略)

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
(中略)		
営業外費用		
支払利息	5,665	7,122
為替差損	60,478	11,377
開業費償却	-	35,686
その他	4,203	10,155
営業外費用合計	70,347	64,342
経常利益又は経常損失()	23,239	74,150
(後略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
(中略)		
営業外費用		
支払利息	5,665	7,122
為替差損	60,478	11,377
操業準備費用	-	35,686
その他	4,203	10,155
営業外費用合計	70,347	64,342
経常利益又は経常損失()	23,239	74,150
(後略)		